

令和4年度～令和12年度
2022 → 2030

表郷地域振興計画



目次

<u>1. 基本方針</u>	1
<u>2. 表郷地域の概要</u>	
(1) 位置・地勢	2
(2) 歴史・文化・自然	3
<u>3. 人口等の状況</u>	
(1) 地域内の人口推移	4
(2) 年齢層別の人口推移	4
(3) 地区別の人口推移と高齢化率	5
(4) 人口移動の理由別比較	7
<u>4. 表郷地域の「強み」と「課題」</u>	9
<u>5. 表郷地域の将来像</u>	13
<u>6. 将来像実現のための「5つの目標」</u>	14
<u>7. 表郷地域の未来を創る取り組み</u>	27

1. 基本方針

平成17年11月7日に、地理的、歴史的にもつながりが深く、生活圏・経済圏も一体化していた白河市・表郷村・大信村・東村の4市村が合併し、新「白河市」が誕生しました。そして合併以降、行財政基盤の強化を図るとともに、産業の振興や地域の均衡ある発展等を重視し、各地域の特徴を活かした地域振興を図ってきました。

しかしながら、人口減少を抑えることは難しく、地域コミュニティをはじめとした多岐にわたる分野での高齢化や後継者不足、さらには若い世代、特に女性の定住促進などが大きな課題として顕在化してきています。中でも表郷地域と大信地域は、人口減少が急速に進んだことにより、今回、過疎地域の指定を受けることとなりました。

人口減少は、非婚化・晩婚化及び出生率の低下などを要因とし、日本全体で進行している現象ですが、大都市圏への人口偏在を背景に、地方においては急速に進行しており、本市においても例外ではなく、何らかの方策を講ずる必要があります。

人口が減少することは、産業・福祉・医療・教育などあらゆる分野へ影響を及ぼしますが、特に生産年齢人口の減少による経済の停滞や高齢化を支える仕組みの行き詰まりなどへの影響が懸念されます。また、社会資本や生活環境及び自然環境の維持管理、地域社会を支えるコミュニティの存続などが、担い手不足により困難になることが予想されます。

そのため、女性や高齢者の就労支援や活躍の場の創出、人口減少に対応する地域社会の仕組みづくり、効率的・効果的な社会資本整備及び空き家や空き店舗、空地などの既存ストックを活用したまちづくりなど、持続可能な社会の構築に取り組んでいきます。

また一方で、コロナ禍を契機として、疫病や災害等の大都市のリスクが顕在化するとともに、デジタル化の進展等により「転職なき移住」が可能となる中、首都圏等に在住の若い世代の方々が地方への移住に関心を寄せており、今後、地方への人の流れが本格化していくものと期待されます。

とりわけ、本市は、首都圏からの近接性や交通の利便性などの地理的優位性、さらには歴史や文化、自然など、豊かな地域資源を有していることから、そういった固有のアドバンテージや特性を最大限に活かし、多くの方々が住んでみたい、住み続けたいと思えるようなまちづくりを進めていきます。具体的には、「総合計画に掲げる基本目標」を基に、「地域課題の解消を目的としたコミュニティビジネスの支援」、「地域医療・介護体制の充実」、「地域や企業を含めた子育て環境の充実」、「若者や女性の多様な働き方支援」、「デジタル社会における総合的な人材育成」等に力を入れていきます。特に表郷地域においては、地域の特色に配慮したまちづくりを進めるとともに、アフターコロナの社会を見据え、高度な情報技術を活用し生活利便性の向上を図りながらも、直接的な人と人とのつながりを重視する「地域の持続的発展に向けた施策」に取り組んでいきます。

2. 表郷地域の概要

(1) 位置・地勢

表郷地域は、白河市の南東部に位置し、面積は、66.48 km²でそのうちの約 60%を山林原野が占めています。

地域の中央には、一級河川社川が東流し、その両岸には美しい田園景観が広がり、四季折々に様々な表情を見せてくれます。

南部には、天狗山を始めとする雄大な八溝山系が連なり、地域をやさしく包み込むように森林地帯が形成されています。

また、国道 289 号や県道中野・番沢線、社田・浅川線などが走り、周辺地域とのアクセスに恵まれ、加えて白河・棚倉間を結ぶ公共交通機関として、JR バス白棚線が運行しており、交通の利便性が高い地域です。



(2) 歴史・文化・自然

表郷地域の歴史は古く、地域内には県指定重要文化財をはじめ、長い歴史を物語る多くの遺跡や史跡などの歴史資源が存在しています。

白河から表郷地域を経て棚倉に至る重要な道である棚倉街道沿線の高木、三森地区には、神が鎮座する山として古くから人々に信仰され、古墳時代中期では、東日本最大規模とされる建鉾山祭祀遺跡（写真①）があります。

中寺地区には、常在院を開山した源翁和尚の殺生石の伝説を描いた源翁和尚行状縁起や、犬神地区の清水寺には金銅装笈、番沢地区には銅製雲板など多くの県指定重要文化財があります。

金山瀬戸原地区には、氷河期の名残を留め、日本では表郷地域以外に確認されていない希少な植物である県指定天然記念物ビャッコイ（写真②）が自生しています。

番沢地区の硯石や梁森地区の石崎には、江戸時代に自然石の岩肌に刻まれた仏像群である磨崖三十三観音、中野地区には平安時代の歌人和泉式部にゆかりのある庵跡と化粧の井（写真③）などがあります。

加えて、疾病除けの神として信仰される河東田牛頭天王祭（写真④）、流行病除け、災難除け、五穀豊穰を祈願する八幡宮下熊野講など多くの民俗行事も地域の人々の手により受け継がれています。

また、表郷地域には、四季折々、多くの動植物や野鳥が集まる恵まれた自然環境があります。美しい稜線を描いてそびえる天狗山（写真⑤）は、うつくしま百名山、新うつくしま百名山にも選ばれ、絶滅危惧種のヤマブキソウ、カタクリやニンソウなど山野草が咲く、日本一遅い山開きで知られる里山です。冬には、ため池として使われている大池（写真⑥）に、遠くシベリアから白鳥が毎年数百羽飛来してきます。



① 建鉾山祭祀遺跡



② ビャッコイ



③ 和泉式部の化粧の井



④ 河東田牛頭天王祭



⑤ 天狗山



⑥ 白鳥が飛来する大池

3. 人口等の状況

(1) 地域内の人口推移

平成18年に、7,280人であった表郷地域の人口は、令和4年には、5,891人と16年間で1,389人（約19.1%）の人口が減少しています。

（単位：人）

年		平成18年	平成21年	平成24年	平成27年	平成30年	令和3年	令和4年
人口	男	3,585	3,485	3,375	3,296	3,165	3,035	2,983
	女	3,695	3,572	3,437	3,316	3,131	2,951	2,908
	計	7,280	7,057	6,812	6,612	6,296	5,986	5,891

（4月1日時点の人口 表郷庁舎調べ）



(2) 年齢層別の人口推移

平成18年から令和4年までの年齢層別を比較すると、若い世代を中心に減少しており、特に0～5歳で、42.8%の減、18歳～22歳で、47.7%の減、23歳～29歳で55.1%の減と大きく減少しています。

（単位：人）

年代別	平成18年			令和4年			計の比較
	男	女	計	男	女	計	
0～5歳	189	171	360	106	100	206	▲42.8%
6～17歳	510	454	964	329	295	624	▲35.3%
18～22歳	224	231	455	129	109	238	▲47.7%
23～29歳	316	287	603	158	113	271	▲55.1%
30～39歳	334	309	643	310	266	576	▲10.4%
40～49歳	495	472	967	380	324	704	▲27.2%
50～59歳	655	559	1,214	336	326	662	▲45.5%
60～69歳	334	366	700	556	522	1,078	54.0%
70歳以上	528	846	1,374	679	853	1,532	11.5%
合計	3,585	3,695	7,280	2,983	2,908	5,891	▲19.1%

（4月1日時点の人口 表郷庁舎調べ）

(3) 地区別の人口推移と高齢化率

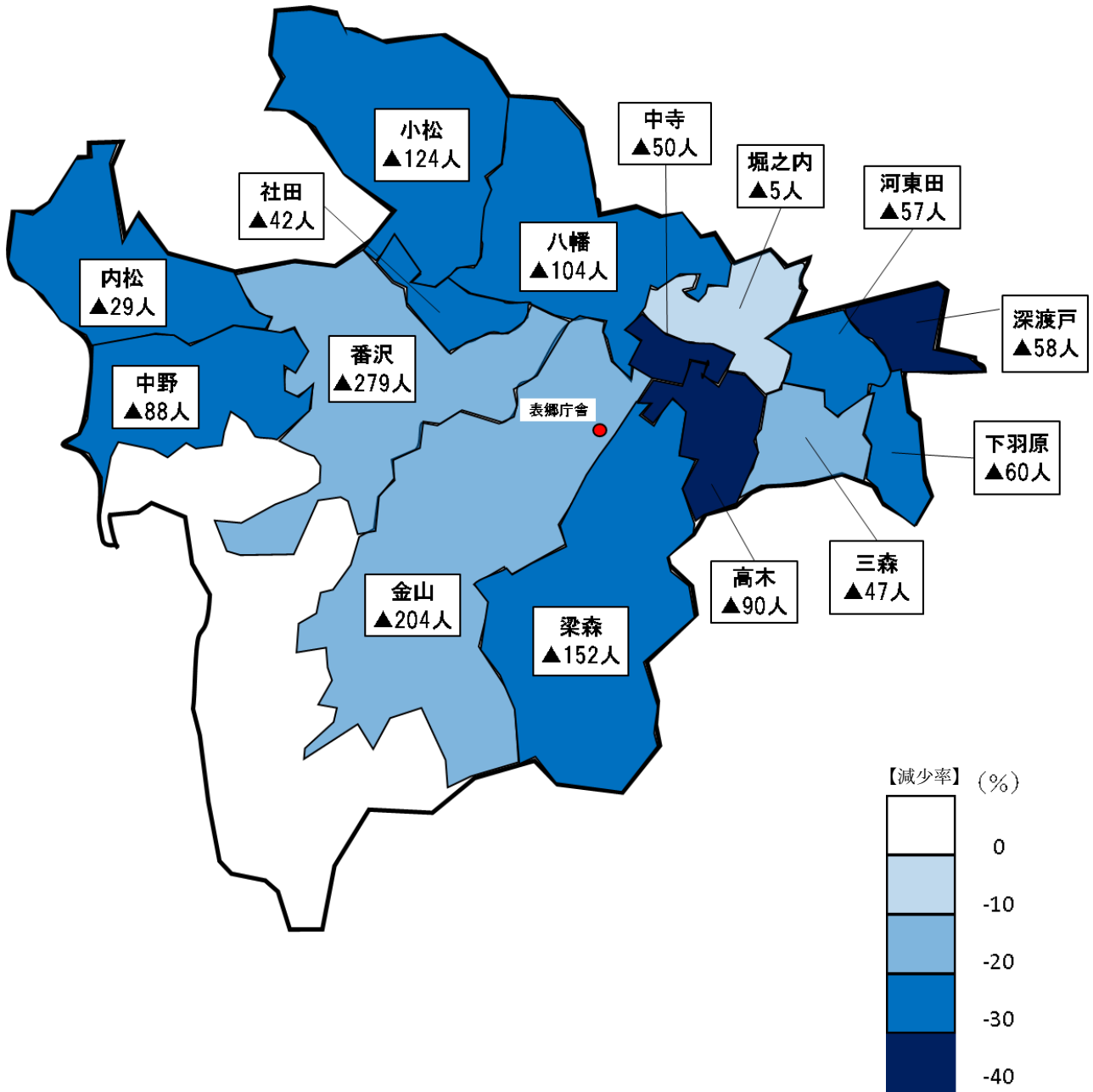
平成18年から令和4年までの地区別人口比較では、中寺地区で37.0%の減少と最も大きくなっています。また、令和4年4月1日現在の高齢化率の比較では、堀之内地区で53.3%と非常に高い高齢化率となっており、他の地区においても全体的に高い値となっています。

(単位：人)

地区名	平成18年	令和4年	増減数	増減率	高齢化率
中寺	135	85	▲ 50	▲37.0%	48.2%
高木	271	181	▲ 90	▲33.2%	41.4%
深渡戸	176	118	▲ 58	▲33.0%	38.1%
中野	321	233	▲ 88	▲27.4%	40.8%
小松	479	355	▲ 124	▲25.9%	38.3%
下羽原	234	174	▲ 60	▲25.6%	39.7%
八幡	422	318	▲ 104	▲24.6%	39.9%
河東田	237	180	▲ 57	▲24.1%	32.2%
梁森	675	523	▲ 152	▲22.5%	35.9%
社田	190	148	▲ 42	▲22.1%	33.1%
内松	141	112	▲ 29	▲20.6%	44.6%
番沢	1,504	1,225	▲ 279	▲18.6%	34.4%
三森	280	233	▲ 47	▲16.8%	33.5%
金山	2,011	1,807	▲ 204	▲10.1%	32.3%
堀之内	204	199	▲ 5	▲2.5%	53.3%
合計	7,280	5,891	▲ 1,389	▲19.1%	36.0%

(4月1日時点の人口 表郷庁舎調べ)

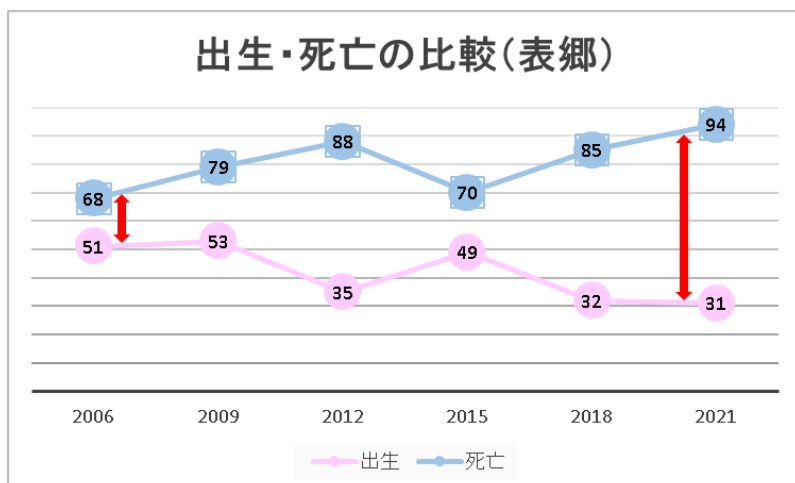
【平成18年から令和4年までの人口推移図（地区別）】



(4) 人口移動の理由別比較

○自然増減

平成 18 年（2006）に 51 人であった出生数は、令和 3 年（2021）には、31 人となり約 40%の減少。また、死亡者は 68 人から 94 人となり 38%の増加が確認できます。この傾向は、今後の少子高齢化の進展により、ますます強まることが予想されます。

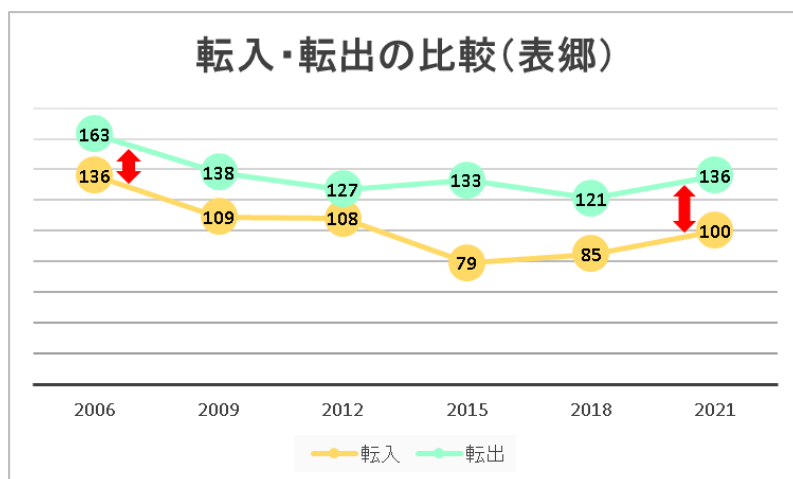


○社会増減

転出者数がほぼ横ばいである一方、平成 18 年に 136 人であった転入者は、減少し続け、令和 3 年には微増し、100 人となっているものの、転出超過の状態が続いており、人口減少に大きく影響していると考えられます。

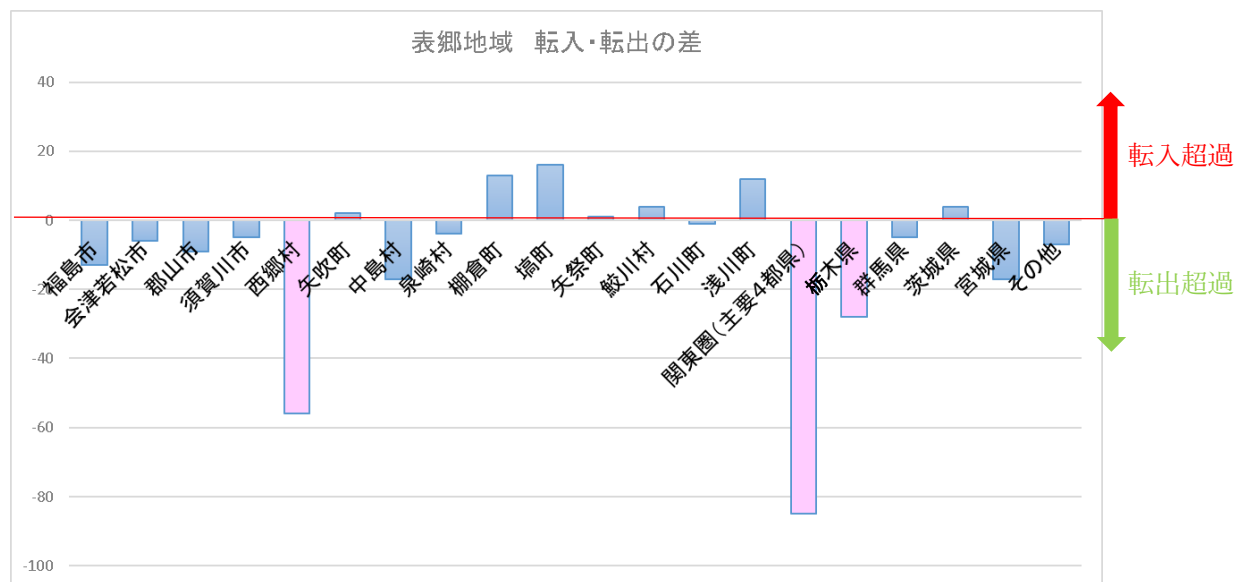
特に転出の多い世代である学生は首都圏へ、また 20 代、30 代の子育て世代は西郷村への転出が顕著となっています。

※転出超過：転入者よりも転出者が多くなっている状態

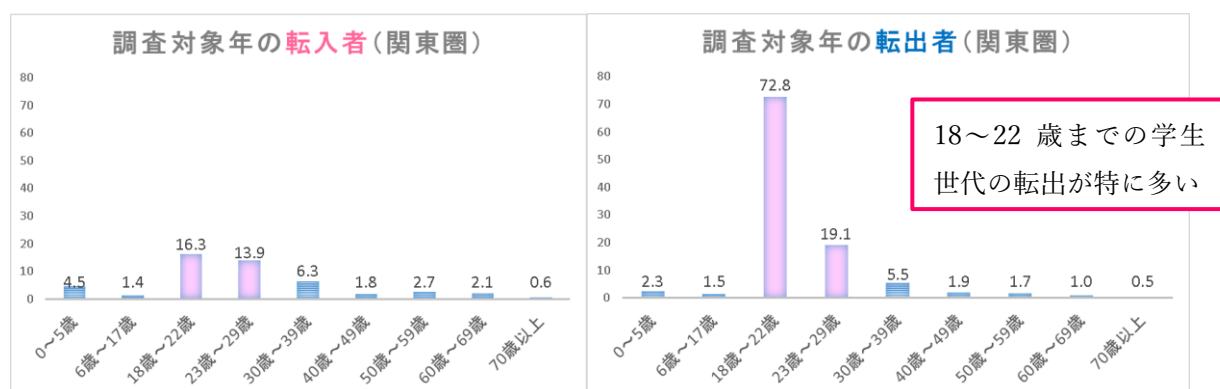


(参考) 転入・転出者の詳細データ

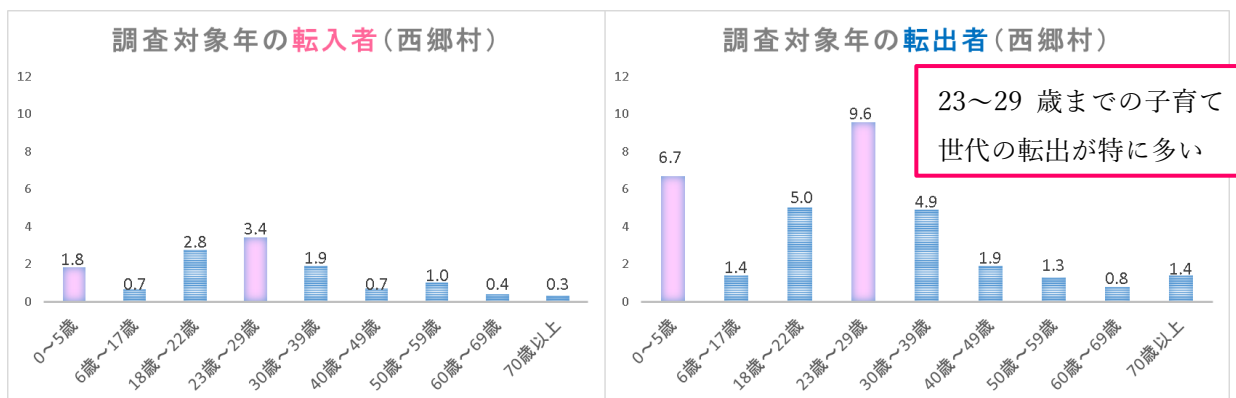
【近隣自治体・首都圏との転入・転出の差】



【関東圏への転出者の年齢（大信地域・東地域含む）】



【西郷村への転出者の年齢（大信地域・東地域含む）】



4. 表郷地域の「強み」と「課題」

地域の振興を図る上で、必要不可欠な住民の声を聞くため、住民の代表である表郷地域活性化協議会の委員と表郷地域の「強み」や「課題」についてそれぞれ意見を交わしました。そこで出された意見は次のとおりです。

表郷地域の「強み」

(1) 数多くの歴史資源が存在している

表郷地域の歴史は古く、地域内には県指定重要文化財をはじめ、長い歴史を辿ることのできる遺跡や史跡などが数多く存在しています。

古墳時代の遺跡である建鉢山祭祀遺跡（写真⑦）や平安時代の歌人和泉式部にゆかりのある庵跡と化粧の井（写真⑧）、鎌倉時代の源義経に従った佐藤兄弟の伝説が残る庄司戻しの桜（写真⑨）、南北朝時代の僧源翁和尚の殺生石の伝説を描いた源翁和尚行状縁起（写真⑩）や、江戸時代のものと考えられる硯石と梁森の磨崖三十三観音（写真⑪）、清水寺に伝わる仏像を飾る金銅装笈（写真⑫）など至るところに歴史資源が存在しています。



⑦ 建鉢山祭祀遺跡



⑧ 和泉式部の化粧の井



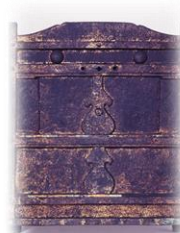
⑨ 庄司戻しの桜



⑩ 紙本著色源翁和尚行状縁起



⑪ 硯石磨崖三十三観音



⑫ 金銅装笈

(2) 地理的優位性がある、交通の利便性が高い

表郷地域は、市中心部と棚倉町の間位置し、南は栃木県に隣接しています。国道289号や複数の県道が走り、移動がしやすく、JR新白河駅へのアクセスにも恵まれており、地理的な優位性がある地域です。

また、白河～棚倉間を結ぶ公共交通として、JRバス白棚線（写真⑬）が運行しており、通勤・通学及び日常生活の移動手段が確保された交通の利便性が高い地域です。



⑬ JRバス白棚線

(3) 温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれている

表郷地域は、平野部が開けている中央部を一級河川社川が東西に流れ、両岸に豊かな田園景観が広がり、南には天狗山（写真⑭）を始めとする雄大な八溝山系と、八溝山系を一望できる犬神ダム（写真⑮）、北には丘陵地帯が広がっています。気象は、夏は涼しく、冬は降雪量が比較的少ない温暖な気候です。

また、氷河期からある希少な植物ビャッコイ（写真⑯）が自生し、冬には大池に白鳥が飛来するなど、様々な植物や生き物が集まる豊かな自然環境の中に位置しています。



⑭ 天狗山



⑮ 犬神ダム



⑯ ビャッコイ

(4) 利用しやすいスポーツ施設や公園等が整備されている

高校野球の大会などで使用される天狗山球場（写真⑰）をはじめ、表郷体育館、屋内ゲートボール場「すぱーく表郷」（写真⑱）等がある表郷総合運動公園や、子どもたちに人気の鶴子山公園（写真⑲）があり、1年を通して多くの人が利用しています。



⑰ 天狗山球場



⑱ すぱーく表郷



⑲ 鶴子山公園

(5) 表郷地域の自然が育んだ特産物がある

肥沃な大地と清らかな水が育んだ表郷地域の特産物には、トマト、キュウリ、イチゴなどの農産物（写真⑳）に加えて、納豆、大福やバウムクーヘンといった加工品があります。これらの特産品は、表郷地域の自然の恵みを堪能できる逸品です。



⑳ 表郷地域の農産物

表郷地域の「課題」

(1) 暮らし

①災害時の体制づくり

- ・災害等に備えるための防災備蓄倉庫が集会所に設置されていない。
- ・災害発生時の地元町内会内及び消防団や行政との連携体制が不十分である。
- ・人口減少により消防団員の担い手が少なくなっている。
- ・街灯が少なく夜間が暗い。

②居住環境の整備

- ・公共施設が集約されておらず、利便性が悪い。
- ・空き家が多いが、空き家対策や活用の取り組みが不十分である。

③地域コミュニティ強化の体制づくり

- ・町内会が、地域づくりの主体としての役割を担えるような組織体制となっていない。

(2) 産業

①農業の活性化

- ・高齢化により規模が縮小してきており、さらには農業の担い手が不足している。
- ・無農薬や有機栽培で生産するブランド化された農産物が少ない。

(3) 交通施設・交通手段

①道路の整備

- ・国道 289 号は交通量が多く、特に梁森・高木地区沿線は、歩道が狭く、危険であるため対策が必要である。
- ・地域内を走る道路の維持管理が充分でない。

②地域公共交通の充実

- ・現在の予約型乗合タクシー実証実験は、将来的には利用される可能性はあるが、バスに馴染みのある表郷地域としては、現在は利用が少ない。
- ・公共交通の改善について考えていかなければならない。

(4) 子育て・教育

①子育て世代への支援

- ・ 保育園、幼稚園が離れていて送迎が不便である。
- ・ 子育て施策を含め、若い世代が子育てしやすい環境が整っていない。
- ・ 現在、表郷地域内には学習塾が少ない。

(5) 医療

①医療体制の充実

- ・ 医療体制が充分であるとは言えない。
- ・ 産婦人科や小児科がない。

(6) 地域資源

①情報発信による交流人口の拡大

- ・ 豊かな自然や文化、歴史資源があるが、活用が不十分である。
- ・ 建鉾山など地域資源の掘り起こしや整備がなされていない。
- ・ 効果的な情報発信がなされておらず、交流人口の拡大に繋がっていない。

②観光の振興

- ・ 表郷地域の特産品を一括で販売したり、地域内の案内や休憩ができる施設がない。
- ・ 地域の観光・交流人口を創出する仕組みが整っていない。
- ・ 利用者が多く訪れる鶴子山や天狗山のトイレ整備が不十分である。



建鉾山からの眺望

5. 表郷地域の将来像

表郷地域は、都市部への人口流出に加え、急速に進む人口減少・少子高齢化を背景に、令和4年4月に過疎指定を受けました。

人口減少の影響により、今後ますます産業の衰退、医療や公共交通、買い物など生活関連サービスの縮小、地域コミュニティ機能の低下などが懸念されます。

私たちは、この様々な課題に向き合い、表郷地域に住む人々や子どもたちが未来に希望を持てるまちをつくり、次の世代に引き継いでいく必要があります。

表郷地域には、独自の歴史や文化資源、豊かな自然とそれを基盤とし受け継がれてきた農業や特産品、交通の利便性や地理的優位性といった表郷地域が有する「強み」があります。

この地域にある様々な「強み」を総動員して、知恵を絞り、表郷地域全体の振興を図るため、地域住民の声に耳を傾け、住民、地域団体、行政が共に「課題」に向き合い、共に歩みながら、次に掲げる表郷地域の目指すべき将来像の実現に向けた取り組みを進めていきます。

目指す10年先の表郷の未来

『住みたい、住み続けたい表郷』

～みんなが手を取り合う、“笑顔”あふれるまち～

《将来像に込めた思い》

『赤ちゃんからじいじ・ばあば、地域の団体、行政が手を取り合い、「笑顔」で「幸せ」に暮らすことができるまちをつくることで、その先に「表郷に住みたい、住み続けたい、住んで良かった」と心から実感できる未来があるはず。』という思いが込められています。



6. 将来像実現のための「5つの目標」

表郷地域の将来像の実現を目指すために大切な「5つのまちづくりの目標」を定め、それぞれの目標に基づき、様々な取り組みを進めていきます。

将来像を実現するための5つの目標

1

安全・安心なまちづくり

災害に備えた体制づくりや防犯対策、医療の充実等、安全・安心に暮らし続けることができるまちづくりを進める。

【施策区分】

防災・防犯
福祉・医療
地域コミュニティ

2

若い人や子育て世代が住みたくなるまちづくり

教育や子育て環境の充実に向けた取り組みを行い、若い世代を地域で支え合いながら子育てを応援するまちを目指す。

【施策区分】

教育・子育て

3

人・物の交流が生まれるまちづくり

自然や文化、歴史などの足元の資源に加え、地域の特産物等の魅力を発信し、交流人口の創出・拡大に向けた取り組みを進める。

【施策区分】

歴史・文化・資源
観光

4

コンパクトで住みやすいまちづくり

都市機能が集約し、持続可能な地域公共交通が確保されたコンパクトで魅力ある住みやすいまちづくりを進める。

【施策区分】

都市基盤
公共交通

5

持続可能な活力ある産業が営まれるまちづくり

農業をはじめとする各種産業の担い手の確保・育成及び持続可能な経営基盤強化の取り組み等により、活力ある産業づくりを進める。

【施策区分】

地域経済

1

安全・安心なまちづくり

災害に備えた体制づくりや防犯対策、医療の充実等、安全・安心に暮らし続けることができるまちづくりを進める。

【施策区分】

防災・防犯
福祉・医療
地域コミュニティ

防災・防犯については、住民一人ひとりの防災や防犯に対する意識を高めるとともに、自助、共助の意識を持ち、町内会などの自主防災組織や消防団、行政との連携を強化する体制づくりを目指します。

また、防災・防犯のために必要な施設等の整備についても検討していきます。

福祉・医療については、住民誰もが安心して暮らしていける医療体制の充実等を図っていきます。

地域コミュニティについては、住民一人ひとりが支え合い、助け合いの心を持つとともに、地域で取り組むべき課題や備えるべき機能、果たすべき役割などを検討し、必要な体制の確立に向けた取り組みを行っていきます。

空き家対策としては、空き家を活用する取り組みを行い、空き家が放置されない環境づくりを目指します。

前期過疎計画での主な事業

施策区分	事業名	事業内容
防災・防犯	消防車両等整備事業 消防屯所整備事業	耐用年数に達するポンプ車、積載車、小型動力ポンプについて更新し、老朽化している消防屯所等を更新します。
	交通安全施設整備事業	区画線、ガードレールの整備・改修を行います。
	道路改良事業 道路維持改修事業	安全で円滑な交通の確保と地域内・地域間交通の利便性向上を図るため、主要幹線道路、生活道路の整備及び老朽化した橋やトンネル等の点検及び修繕を行います。また、必要な道路施設の舗装補修、舗装新設、側溝新設を行います。
	街灯LED化整備事業	街灯のLED化を行います。
福祉・医療	医療機関新規開業支援事業	地域医療の維持のため、新規開業者や医業を承継する場合に奨励金を交付します。
	高齢者見守り生活支援事業（すまいる号）	移動販売車による買い物支援、高齢者の見守り（孤立防止）に取り組めます。

施策区分	事業名	事業内容
地域コミュニティ	集落支援事業	集落の点検やあり方に関する話し合い、地域の実情に応じた集落の維持・活性化対策を推進するため、集落支援員を設置します。
	集会所整備事業	建築から概ね40年を経過した集会所について、計画的に新たな集会所の建設又は大規模改修等を実施します。
	地域ネットワーク環境整備事業	集会所などの地域施設にインターネット環境(Wi-Fi)を整備し、地域のデジタルサービス充実のための基盤整備を行い、地域の情報化を推進します。
	デジタル・デバイド対策事業	スマートフォンの普及率が低い高齢者への支援のため、集会所や公民館などで「スマホ教室」を開催します。また、デジタル支援員を育成し、市と一体となって施策の普及活動を進める体制を構築します。
	暮らし体験住宅整備事業	地方移住に関心を寄せている方を対象に、首都圏との近接性や豊かな自然環境での暮らしを体験してもらうための暮らし体験住宅を整備します。
	来て「しらかわ」住宅取得支援事業	県内外から市内へ移住するために住宅を取得する世帯へ補助金を交付します。
	農家民泊導入支援事業	農家民泊を実施しようとする生産者に対し、初期投資費用を補助します。
	過疎地域空き家等活用事業	空き家を活用した事業拠点、農業拠点として利活用を進めるとともに、モデルケースとして発信することで、移住者や関係人口等を増加させ地域コミュニティの活性化を図ります。

後期過疎計画等に向けて検討していく主な事業

【防災・防犯】

○地域防災体制の充実

集会所に簡易型の防災倉庫を設置し、災害発生時に必要な資材などの保管や集会所避難を想定した防災グッズ、飲料水や食料を備蓄します。

また、防災意識を高めるため、町内会が実施する避難訓練等や防災教育及び高齢者や障がい者の避難体制づくりへの支援、地域自主防災組織の育成を推進します。

○安全・安心な道路交通の整備

日中や休日においても非常に交通量が多い幹線道路である国道 289 号は、市街地や棚倉町方面への通勤・通学に欠かせない生活道路です。

特に梁森地区から高木地区の間は、道路の両側に住宅があり、歩道も片側の狭いものしかなく（ガードフェンスも無い）、歩行者や自転車で通行する際、大変危険であるため、早急な歩道拡幅工事の実施を要望していきます。

また、交通量の多さから路面が傷んでいる箇所も見られるため、舗装等の道路改良工事の実施についても要望していきます。

【福祉・医療】

○地域医療体制の充実

表郷地域唯一の医療機関であり、高齢者を中心に、地域のかかりつけ医として地域医療に大きな役割を果たしている表郷クリニックの診療体制強化のため、診療・検査機器の充実を図っていきます。

また、妊産婦の専門医療機関は表郷地域になく、市内総合病院や市外へ通う方が多いため、妊産婦が病院を受診する際の交通費などに対する助成について検討します。

○高齢者支援センターの設置

電球の取り換え、重い物の移動等やスマートフォンの操作など、高齢者のちょっとした依頼に対応できる高齢者支援センターの設置を検討します。

【地域コミュニティ】

○地域づくり拠点センターの設置

地域づくりの拠点となる窓口（表郷庁舎内）を整備し、地域づくりの中心かつ包括的な役割を担う機関の設置を検討します。業務内容は、町内会長・民生委員の補助、地区の困りごと、移住・定住、交流などの相談に応じるものです。

窓口職員は、行政経験があり地域の実情を熟知する退職市職員等の活用を検討します。

若い人や子育て世代が住みたくなるまちづくり

教育や子育て環境の充実にに向けた取り組みを行い、若い世代を地域で支え合いながら子育てを応援するまちを目指す。

【施策区分】

教育・子育て

子育て世代の定住、移住を促進するために、子育て世代からのニーズが多い教育環境、防犯対策、交通安全対策、医療体制等の施策を検討していきます。

また、若い人や子育て世代の声を聞きながら、子育てをみんなで支える環境をつくることで、安心して子どもを産み、子育てしやすいまちを目指します。

前期過疎計画での主な事業

施策区分	事業名	事業内容
教育・子育て	子どもの居場所づくり支援事業	子どもが集まる居場所（こども食堂）を運営する団体に対し、その経費を補助し、安定的な運営を支援します。
	子育てサロン推進事業	乳幼児及び保護者が気軽に集い、交流し、仲間づくりを行う場を運営する団体に対し、その費用を助成します。
	地域子育て支援拠点事業（出張ひろば）	主に0歳～3歳の乳幼児を持つ親と子が気軽に集い、語り合い、交流を図り、ボランティアを活用しての育児相談等を行う場を設置することにより、子育て支援機能の充実を図ります。
	表郷こども園整備事業	老朽化が著しい保育園を幼稚園の隣接地に移転し、幼保一体型施設のこども園として整備します。
	鶴子山公園再整備事業	南側駐車場へトイレを新設するとともに、老朽化している既存北側トイレや四阿、案内板などの公園施設を再整備します。
	表郷総合運動公園体育施設等改修事業	多目的グラウンドをサッカー場として再整備します。また、体育館の大規模改修やトイレの整備など、公園内の施設を再整備します。
	スポーツ振興事業	住民の健康増進等を目的に、スポーツ実施率の向上を目指し、総合的な社会体育事業を推進します。
	表郷地域振興バス白鳥号更新事業	小・中学校行事や公民館事業等で利用できるバスを購入し、地域内の教育・交流事業の移動手段を提供します。
	無形民俗文化財等記録作成事業	民俗芸能と伝統行事の実施促進と地域文化の保存・継承のため、民俗芸能と伝統行事について、聞き取りや写真・映像等の記録を行い、図書館等での公開を検討します。

後期過疎計画等に向けて検討していく主な事業

【教育・子育て】

○表郷地域の学力向上対策

地域内には学習塾が少なく、小・中学生が塾に通う場合は、市中心部や棚倉町まで行かなければならないため、費用の面でも保護者の負担は少なくない状況にあります。地域の空き家等を活用し、退職教職員を雇用し、小・中学生を対象とした学習塾の開設を検討します。

移住・定住、企業誘致等を考えていく上で、「学力の高い地域」としてのイメージを実現させ、定住・移住につなげます。この観点から、学校教育においても更なる学力向上に取り組んでいきます。

○育児・育孫講座の開催

男性の育児休暇取得増加を図るため、父親のための育児講座の実施を検討します。

また、祖父母に安心して子どもを預けたり、預けられた祖父母が安心して孫のお守りができるよう、祖父母を対象とした育孫講座の実施を検討します。

○鶴子山公園の再整備

子どもの遊び場として人気の施設である鶴子山公園について、前期計画に引き続き、特に安全・衛生面の整備と利用者のニーズに沿った施設の管理運営を実施していきます。

また、併設する「やまびこ」について、親子でゆっくりと過ごせる屋内施設としての整備を検討します。

○表郷総合運動公園体育施設等の改修

前期計画に加えて、総合運動公園内施設を一体的に整備し、スポーツ団体の利用促進を図っていきます。

そのため、天狗山球場のナイター設備及び電光掲示板の整備をはじめ、体育施設の利便性向上を図ります。さらに、老人福祉センターは、クラブハウスの役割として、温浴施設を設け、宿泊可能な施設としての整備や屋外ではバーベキューなどが楽しめる施設への改修を検討していきます。

人・物の交流が生まれるまちづくり

自然や文化、歴史などの足元の資源に加え、地域の特産物等の魅力を発信し、交流人口の創出・拡大に向けた取り組みを進める。

【施策区分】

歴史・文化・資源
観光

表郷地域の歴史・文化・豊かな自然環境などの地域資源に対し、住民自身が愛着を持ち次世代へ繋いでいくとともに、そうした資源を有効活用し、表郷地域の魅力を効果的に発信することで交流・観光人口の拡大を図っていきます。

また、新たな地域資源の掘り起こしや手つかずの地域資源の整備等についても検討していきます。

前期過疎計画での主な事業

施策区分	事業名	事業内容
歴史・文化・資源	ビャッコイ自生地 植生調査事業	区域内の植物リストを四季で作成します。専門家等で構成する委員会を設置し、植生調査、保存対策の検討を行い、国指定天然記念物への意見具申を目指します。
	文化財調査事業	市内に所在する文化財を調査し、市と地域が総がかりで保存・継承・活用に取り組んでいくための方針と施策を定めます。
	無形民俗文化財等 記録作成事業	民俗芸能と伝統行事の実施促進と地域文化の保存・継承のため、民俗芸能と伝統行事について、聞き取りや写真・映像等の記録を行い、図書館等での公開を検討します。
	さとやま音楽会開催事業	音楽によって生み出される様々な価値を活かして、表郷地域の賑わいの創出を図ります。



ビャッコイ自生地

後期過疎計画等に向けて検討していく主な事業

【歴史・文化・資源】

○ビャッコイ自生地の保全

ビャッコイは、日本では表郷地域にしか自生していない貴重な植物であり、県指定の天然記念物です。ビャッコイが、国指定の天然記念物となるために、自生地周辺環境の整備とこれまで以上の保全に向けた取り組みを検討していきます。

○建鉾山祭祀遺跡及び登山道等の整備

建鉾山の古代祭祀遺跡としての価値を再認識するとともに、駐車場や登山道などの整備を検討します。草刈り等は、地元住民との協力で行い、歴史ある文化財の保全活動の支援を推進していきます。

【観光】

○おもてごう物産館の整備

表郷地域の農産物、加工品等の販売及び観光名所等のPRのため、「おもてごう物産館」の整備を検討します。

直売所機能として、米や地場野菜を販売するほか、フルーツトマト、イチゴ、納豆、バームクーヘン、フルーツ大福といった「表郷ならではの品」が一括で手に入る場所とし、地場産業の推進、集客を見込みます。また、憩いの場として喫茶スペースの併設も検討します。

○休耕地お花畑事業

地域で無償貸与が可能な休耕地を募集し、市が土地を借り上げ、NPO法人やシルバー人材センターに委託し、花を植え、管理する取り組みを検討します。北海道富良野のラベンダー、福島市の花見山、平田村の芝桜のような、表郷にはこの花というものを選定します。この事業は、地域の休耕地解消とともに、花に囲まれることで地域住民の心の安らぎを得るものです。

おもてごう物産館と合わせて、特に天狗山の年間1万人に及ぶ来訪者の地域内回遊を目的とします。

コンパクトで住みやすいまちづくり

都市機能が集約し、持続可能な地域公共交通が確保されたコンパクトで魅力ある住みやすいまちづくりを進める。

【施策区分】

都市基盤
公共交通

都市基盤については、公共施設や金融機関、商業施設、医療機関などの都市機能を集約する土地利用を図るとともに、利便性の高い暮らしやすいまちづくりを目指します。

また、道路等の社会インフラの維持・向上に努め、生活基盤の充実を図ります。

公共交通については、高齢化の進展に伴い、交通弱者の増加が予測されるため、公共交通の充実及び新しい公共交通システムの検討を進めるとともに、まちづくりと一体となった公共交通体系の整備を図ります。

前期過疎計画での主な事業

施策区分	事業名	事業内容
都市基盤	サイン表示設置事業	地域内各所にサイン表示を設置することで、円滑に人の流れを誘導します。
	道路改良事業 道路維持改修事業	安全で円滑な交通の確保と地域内・地域間交通の利便性向上を図るため、主要幹線道路、生活道路の整備及び老朽化した橋やトンネル等の点検及び修繕を行います。また、必要な道路施設の舗装補修、舗装新設、側溝新設を行います。
公共交通	新交通システム導入事業	小規模需要に対応した新たな交通システムの導入や、共助による交通の仕組みづくりなどにより、高齢者等の移動手段を確保します。



小規模需要に対応した予約型乗合タクシー（実証実験中）

後期過疎計画等に向けて検討していく主な事業

【都市基盤】

○若者向け居住環境の整備

若者のニーズに合った居住環境の整備の実施を検討します。地域内の市有地で宅地化が可能な土地を再発掘し、民間資本による住宅用地の開発促進を図ります。

併せて、既存の行政分譲地である第 2 白鳥ニュータウンの若者世帯向けの販売促進策についても検討します。

また、地域内の空き家の再調査を行い、空き家バンクへの登録及び利活用を図るとともに、空き家を買った際のリフォームについて補助を検討します。

ターゲットとして、移住者や地域内の若い世代などを想定しています。

【公共交通】

○新交通システム導入事業

前期計画にも掲げられている本事業は、長期的視野に立って、継続して取り組む必要があるため、5年後、10年後を予測した高齢者の交通環境の整備を検討します。

また、高齢者だけの世帯も年々増え続け、交通弱者の増加が予測されるため、公共交通に頼らざるを得ない状況が予測されます。

現在の予約型乗合タクシーの実証実験結果やこれまでの地域巡回バスの利用結果だけでなく、地域住民のニーズや時代にマッチした新交通システムの導入を検討していきます。



表郷地域を走るJRバス白棚線

持続可能な活力ある産業が営まれるまちづくり

農業をはじめとする各種産業の担い手の確保・育成及び持続可能な経営基盤強化の取り組み等により、活力ある産業づくりを進める。

【施策区分】

地域経済

交通の利便性や地理的優位性を活かした企業誘致や多様な産業が持続的に発展するよう、産業基盤の強化や産業を支える人材の育成等に努めます。

また、歴史・文化・自然などの地域資源を活かし、表郷地域の魅力発信や交流・観光人口の拡大を図り、地域経済全体の活性化を進めていきます。

前期過疎計画での主な事業

施策区分	事業名	事業内容
地域経済	自然の恵み(農作物)オーナー制導入支援事業	農作物オーナー制を実施しようとする生産者に対し、初期投資費用を補助します。
	農業人材確保・育成事業	就農希望者の呼び込みや経営継承の推進及び農業分野での関係人口の増加を図ります。
	持続可能な農業推進事業	持続可能な農業への取組支援やスマート農業の導入支援を行います。
	農業用施設整備「結」支援事業	農業用施設の保全活動に対して、資材の支給や敷設に係る機械等の賃借費用の支援を行います。
	起業・創業支援事業	地域資源の活用や雇用の創出など、地域への貢献度が高い新たなビジネスを起業しようとする者や新たな分野にチャレンジする事業承継者に対し、設備導入費や販路開拓費等の経費を補助します。
	商工関連団体支援事業	商工会が行う中小事業者に対する経営相談、経営改善・指導事業、地域総合振興事業や、商工業振興のために商工会が企画実施する事業などに対して、補助します。
	商品開発・販路拡大推進事業	中小事業者が新たなビジネスに取り組むための市場調査や大学等の研究機関、他の事業者と連携した新技術・新商品開発、新たな取引先の開拓のための展示会等への出店等に係る経費を補助します。

施策区分	事業名	事業内容
	小規模企業支援資金融資制度事業	中小事業者が経営基盤の強化のため(株)日本政策金融公庫が行う小規模事業者経営改善資金貸付を活用し資金融資を受けた際に支払った利子を補助します。
	中小企業支援資金融資制度事業	中小企業者が経営基盤の強化のため白河市中小企業経営合理化資金融資制度を活用し資金融資を受けた際に支払った信用保証料を補助します。
	白河市移住者支援就業促進事業	首都圏から地域内の企業へ就業又は、地域内で起業するため、若しくは転職せずテレワークにより移住し、5年以上継続して定住する意思がある方に対し、移住支援金を支給します。
	企業立地奨励金事業	企業立地を促進し、工業の振興と雇用機会の拡大を図ることを目的として、工場等を新・増設する事業者に対し、奨励金を交付します。
	ふるさと白河表郷まつり	地元の中学生や文化団体連合会による演技の披露に加えて、地元事業者による模擬店やイベント企画を実施します。



ふるさと白河表郷まつり

後期過疎計画等に向けて検討していく主な事業

【地域経済】

○「食」による賑わい創出事業

地域内の空き物件等を利用し、「食」のチャレンジショップを設営。調理師専門学校の卒業生や有名料理店で修業を積んだ料理人を募集し、客は料理を楽しみ、料理人は経営感覚を磨く。料理人には、数年後、表郷地域内での独立を期待する。食による誘客で、表郷地域を「通過するまち」から「立ち寄ってもらえるまち」に変えていきます。

○兼業農家への支援

表郷地域には、中小規模の兼業農家が多く存在します。この兼業農家こそが、農地管理を行っていることで景観が保たれていますが、そのような兼業農家に対する支援・補助金は大規模農家に比べて少ない状況にあります。地域の農業後継者を育成するため、兼業農家にも目を向け、支援策を検討していきます。

○おもてごう物産館の整備（再掲）

表郷地域の農産物、加工品等の販売及び観光名所等のPRのため、「おもてごう物産館」の整備を検討します。

直売所機能として、米や地場野菜を販売するほか、フルーツトマト、イチゴ、納豆、バームクーヘン、フルーツ大福といった「表郷ならではの品」が一括で手に入る場所とし、地場産業の推進、集客を見込みます。また、憩いの場として喫茶スペースの併設も検討します。

○休耕地お花畑事業（再掲）

地域で無償貸与が可能な休耕地を募集し、市が土地を借り上げ、NPO法人やシルバー人材センターに委託し、花を植え、管理する取り組みを検討します。北海道富良野のラベンダー、福島市の花見山、平田村の芝桜のような、表郷にはこの花というものを選定します。この事業は、地域の休耕地解消とともに、花に囲まれることで地域住民の心の安らぎを得るものです。

おもてごう物産館と合わせて、特に天狗山の年間1万人に及ぶ来訪者の地域内回遊を目的とします。

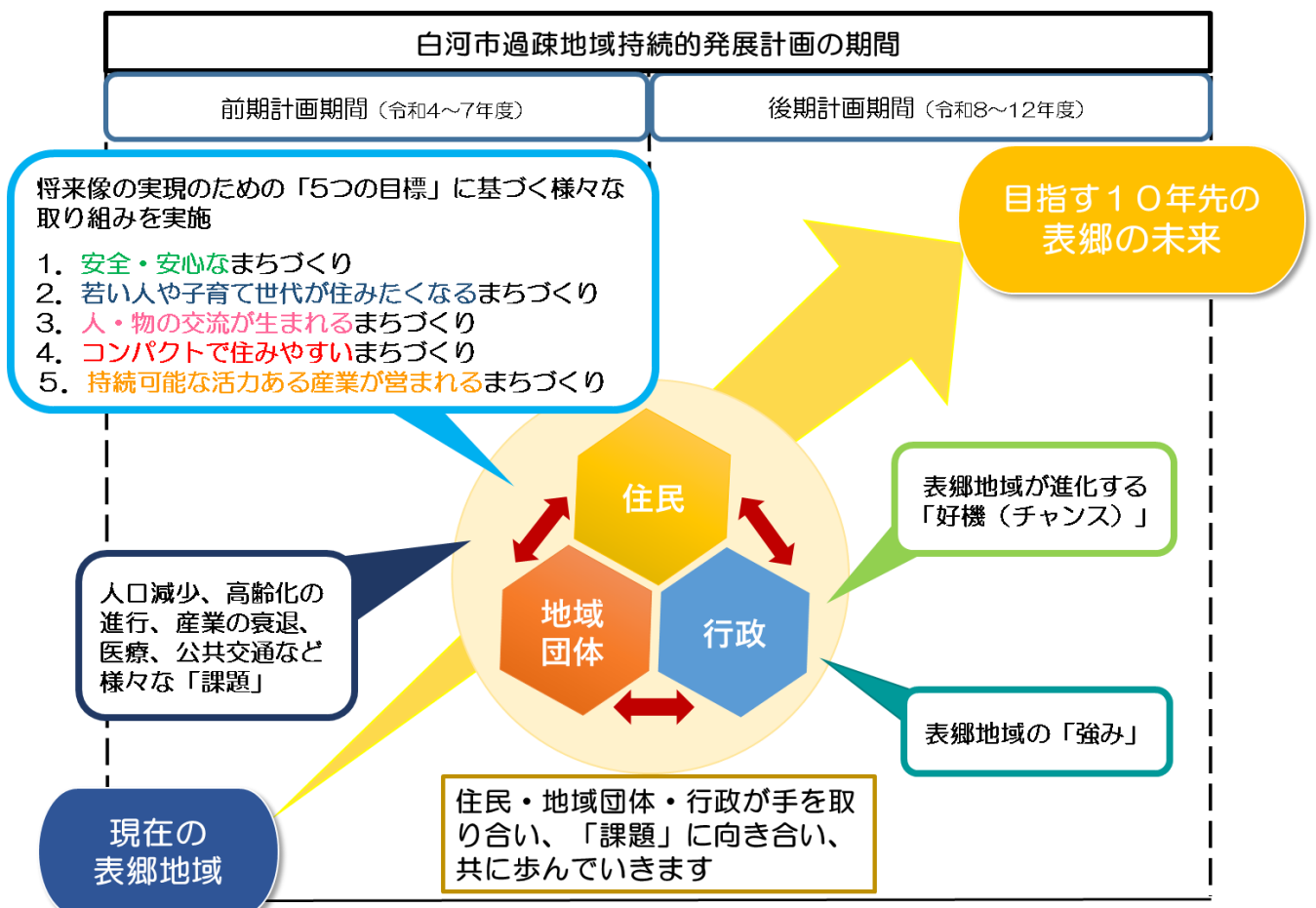
7. 表郷地域の未来を創る取り組み

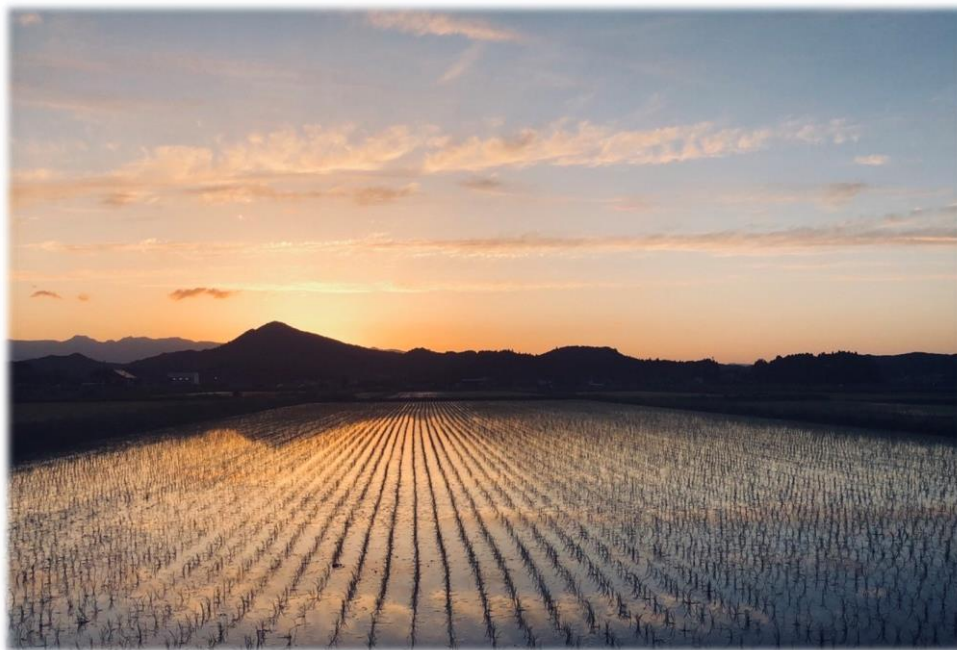
「表郷地域振興計画」は、過疎地域に指定された表郷地域が未来に向かって歩みを進めていくための道しるべとも言えるものです。

私達は、これから、表郷地域が有する「強み」を活かし、将来像を実現するための5つの目標を踏まえながら、「白河市過疎地域持続的発展計画」に掲載している事業や地域振興に資する取り組みを実施していくこととなります。その際、直面するであろう課題や困難な状況を表郷地域が進化していく「好機（チャンス）」と捉え、一步一步前へ進んでいくことが今求められているのではないのでしょうか。

地域住民、地域団体、行政が共に手を取り合い、住民一人ひとりが「笑顔」で、「幸せ」に暮らすことができるまちをつくり、その先の「表郷に住みたい、住み続けたい、住んで良かった」と心から実感できる未来へと歩みを進めてまいります。

【将来像実現に向けた取り組みのイメージ図】





表郷地域振興計画

令和5年2月
白河市表郷庁舎
表郷地域活性化協議会